

2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

2022年2月10日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

四半期連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率	増 減 要 因
営業収益	483,352	508,766	25,413	5.3	「セグメント別業績」参照
営業利益又は営業損失 (△)	△ 59,694	3,911	63,605	—	「セグメント別業績」参照
営業外収益	23,175	27,698	4,522	19.5	
うち持分法による投資利益	7,821	15,449	7,627	97.5	
営業外費用	8,121	7,806	△ 314	△ 3.9	
うち支払利息	5,949	5,648	△ 301	△ 5.1	
経常利益又は経常損失 (△)	△ 44,640	23,802	68,442	—	
特別利益	4,029	40,319	36,289	900.6	固定資産売却益 20,601 負ののれん発生益 10,863 投資有価証券売却益 2,759
特別損失	11,581	7,637	△ 3,944	△ 34.1	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 35,439	50,799	86,239	—	

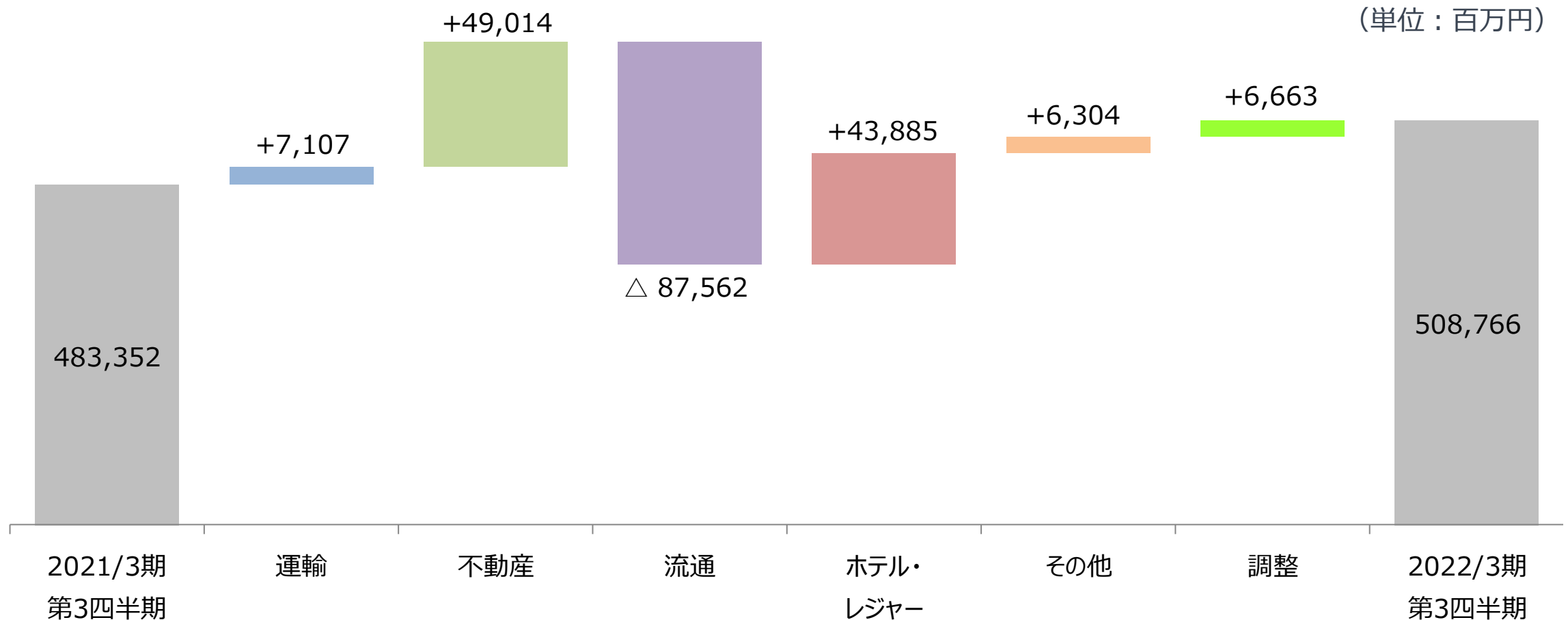
連結子会社数 71社 (前期末比9社減)

持分法適用会社数 6社 (前期末比2社減)

決算ポイント（営業収益）

前年同期の緊急事態宣言に伴う外出の自粛や店舗休業等の反動増に加え、第3四半期には運輸業で需要が徐々に持ち直したほか、不動産業で賃貸物件の売却収入もあり、運輸業、不動産業、及びホテル・レジャー業において増収

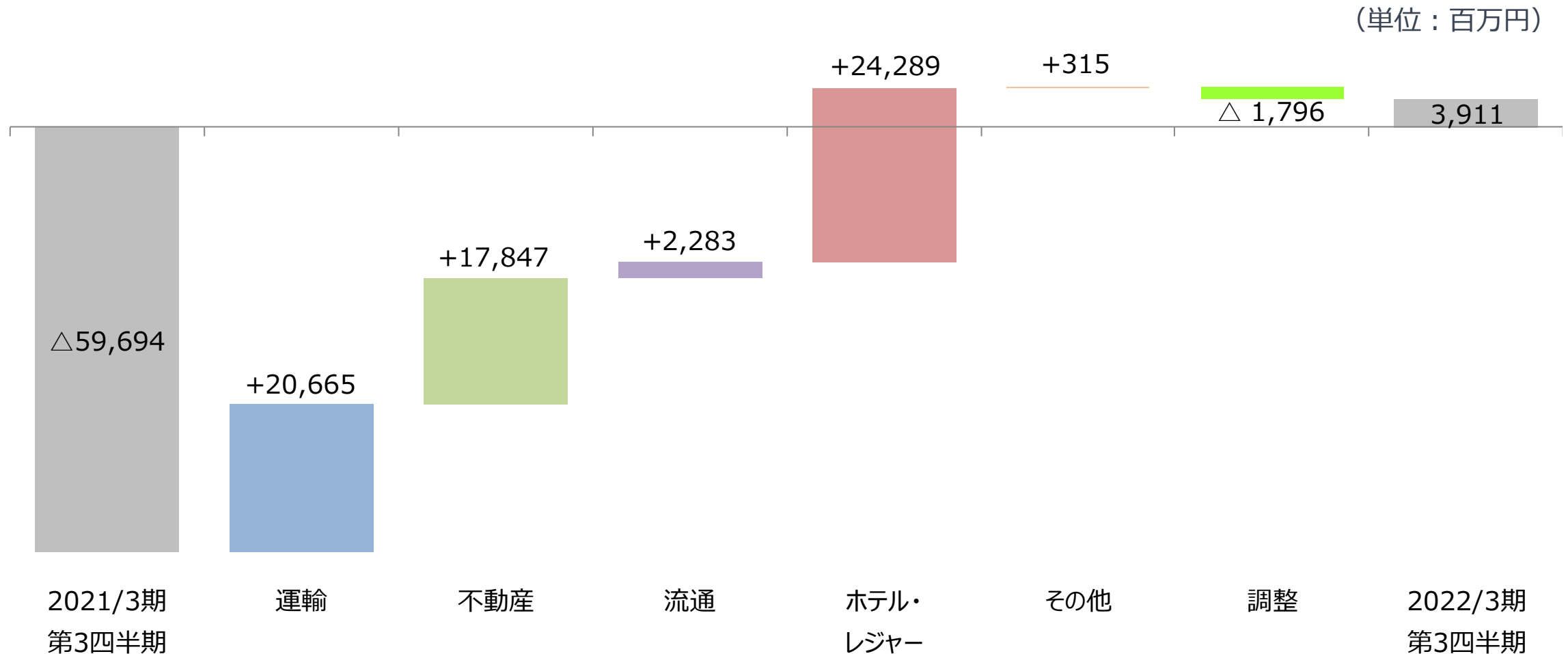
※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、連結で△82,738百万円の減収



決算ポイント（営業損益）

各主要セグメントで損益が改善したことにより、連結全体で利益計上

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、連結で+3,678百万円の増益



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率	※会計基準変更 による影響額
運 輸	営業収益	110,165	117,272	7,107	6.5	△ 792
	営業損益	△ 21,128	△ 463	20,665	—	30
不 動 産	営業収益	84,581	133,596	49,014	58.0	△ 2,630
	営業損益	8,866	26,713	17,847	201.3	291
流 通	営業収益	225,191	137,629	△ 87,562	△ 38.9	△ 96,162
	営業損益	△ 5,059	△ 2,776	2,283	—	23
ホテル・レジャー	営業収益	81,437	125,322	43,885	53.9	14,866
	営業損益	△ 42,949	△ 18,659	24,289	—	3,333
そ の 他	営業収益	14,181	20,486	6,304	44.5	—
	営業損益	1,041	1,356	315	30.3	—
調 整	営業収益	△ 32,204	△ 25,540	6,663		1,980
	営業損益	△ 462	△ 2,259	△ 1,796		—
連 結	営業収益	483,352	508,766	25,413	5.3	△ 82,738
	営業損益	△ 59,694	3,911	63,605	—	3,678

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率
営業収益	110,165	117,272	7,107	6.5
鉄軌道	74,153	80,262	6,108	8.2
バス	16,463	18,237	1,774	10.8
タクシー	5,716	5,969	252	4.4
鉄道施設整備	13,201	8,925	△ 4,276	△ 32.4
その他運輸関連	11,228	10,208	△ 1,020	△ 9.1
調整	△ 10,599	△ 6,330	4,268	
営業損益	△ 21,128	△ 463	20,665	—
(主 な 内 訳) 鉄軌道	△ 15,355	1,642	16,998	—
バス	△ 3,687	△ 807	2,879	—

《鉄軌道》

- 定期、定期外とも4月と8月に緊急事態宣言が発出された影響を受けたが、前年同期の緊急事態宣言期間中の出控えの反動増に加えて、第3四半期には定期外で輸送人員が緩やかに回復したこと等により増収、利益計上

【会計基準変更による影響額】 営業収益:△792百万円 営業損益:+30百万円

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率(%)
〈収支〉				
営業収益 (百万円)	77,547	83,637	6,090	7.9
鉄軌道事業	74,153	80,262	6,108	8.2
旅客収入	69,877	75,953	6,075	8.7
定期外収入	39,960	45,424	5,463	13.7
定期収入	29,916	30,528	611	2.0
運輸雑収等	4,276	4,309	33	0.8
その他事業	3,393	3,374	△ 18	△ 0.6
営業損益 (百万円)	△ 15,541	1,566	17,107	—
経常損益 (百万円)	△ 18,889	△ 1,981	16,908	—
〈運輸成績〉				
輸送人員 (千人)	322,786	348,416	25,630	7.9
定期外	108,278	120,015	11,737	10.8
定期	214,508	228,401	13,893	6.5

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率
営業収益	84,581	133,596	49,014	58.0
不動産販売	25,170	39,144	13,974	55.5
不動産賃貸	33,762	69,778	36,016	106.7
不動産管理	29,082	27,843	△ 1,238	△ 4.3
調整	△ 3,432	△ 3,170	262	
営業損益	8,866	26,713	17,847	201.3
(主な内訳)				
不動産販売	△ 173	2,746	2,920	—
不動産賃貸	8,460	23,166	14,706	173.8

《不動産販売》

- 今期はマンション分譲戸数が増加したこと等により増収、利益計上

《不動産賃貸》

- 賃貸物件の証券化による売却収入もあり、増収増益

【会計基準変更による影響額】 営業収益：△2,630百万円 営業損益：+291百万円

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増減	増減率
営業収益	225,191	137,629	△ 87,562	△ 38.9
百貨店	153,288	68,877	△ 84,411	△ 55.1
ストア・飲食	72,457	68,980	△ 3,476	△ 4.8
調整	△ 555	△ 228	326	
営業損益	△ 5,059	△ 2,776	2,283	—
(主な内訳)				
百貨店	△ 3,035	△ 2,669	366	—
ストア・飲食	△ 2,024	△ 107	1,917	—

《百貨店》

- 当期も緊急事態宣言の発出による影響を受けたが、前年同期とは異なり閉鎖店舗が一部にとどまり、また閉鎖中も食品売場等の営業を続けたことから、「収益認識に関する会計基準」等適用前の売上高は増加し、損益改善

【会計基準変更による影響額】 営業収益：△96,162百万円 営業損益：+23百万円

(単位：百万円,%)

	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 率
営業収益	81,437	125,322	43,885	53.9
ホテル	16,125	15,561	△ 564	△ 3.5
旅行	61,234	104,944	43,709	71.4
映画	2,022	2,188	165	8.2
水族館	2,054	2,628	574	28.0
調整	—	—	—	—
営業損益	△ 42,949	△ 18,659	24,289	—
(主な内訳)				
ホテル	△ 15,445	△ 10,645	4,799	—
旅行	△ 26,194	△ 7,758	18,436	—
水族館	△ 1,354	△ 379	974	—

《ホテル》

- 当期は新型コロナウイルス感染症による出控えの影響が緩和したが、10月より一部のホテルにつき資産売却に伴う受託事業への移行もあり減収、損益改善

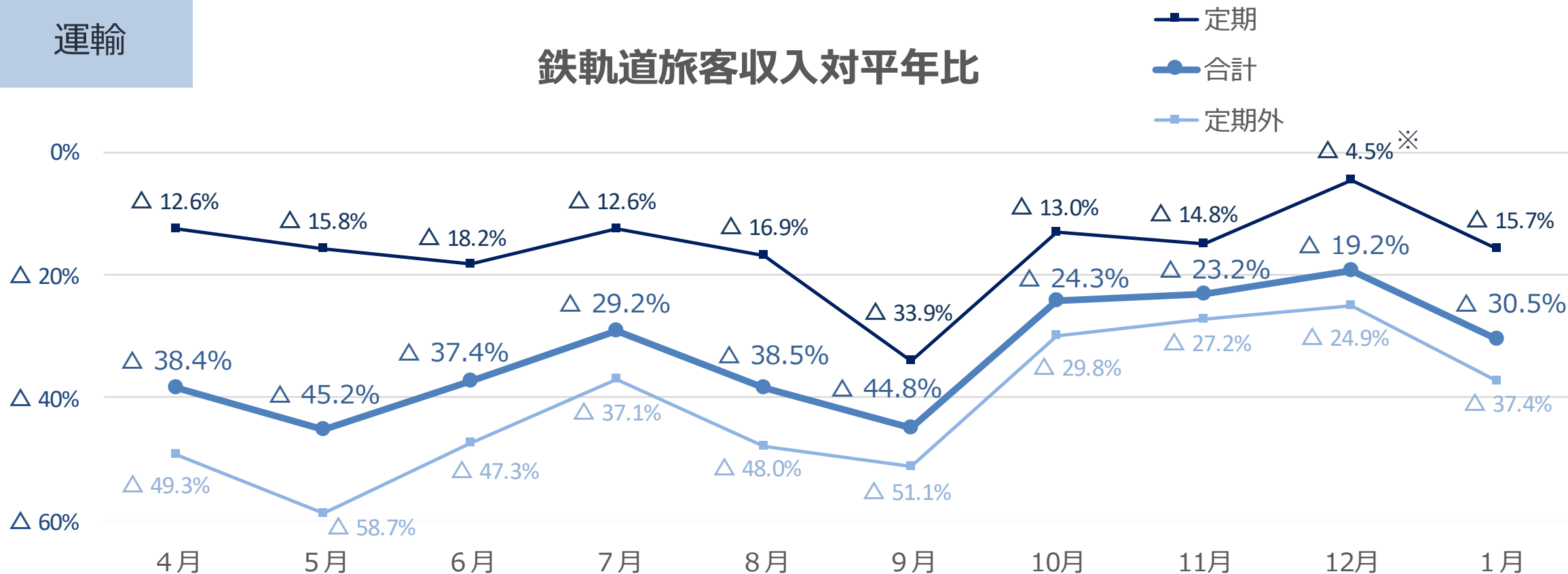
《旅行》

- 前期に引き続き海外旅行を催行できず、国内旅行も依然として厳しい状況が続くなかで、旅行業以外の業務受託に注力したこと等により増収、損益改善

【会計基準変更による影響額】 営業収益：+14,866百万円 営業損益：+3,333百万円

運輸

鉄軌道旅客収入対平年比



《鉄軌道》

- 4月29日から、大阪線、奈良線、京都線、南大阪線において最終列車の繰り上げを実施。また、7月3日以降は全線において、利用状況に応じたダイヤの見直し。
- 比較年度（2019年）の9、10月は消費税増税の影響あり

※ 12月の定期については「収益認識に関する会計基準」等の影響を除くと △15.4%

流通

「百貨店」

- 4月25日から一部店舗（あべのハルカス近鉄本店、上本町店、Hoop、and、上本町YUFURA）で、生活必需品を扱う食料品売場等を除き全館臨時休業。6月1日から、生活必需品を扱う売場以外でも営業を再開。
- 比較年度（2019年）の9、10月は消費税増税の影響あり

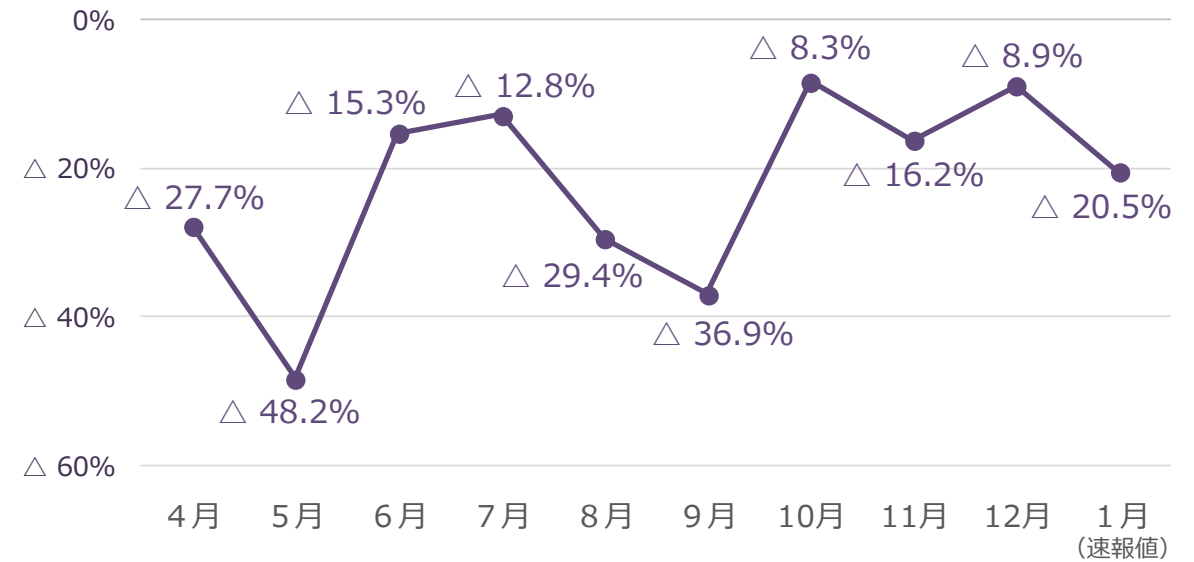
ホテル・レジャー

「ホテル」

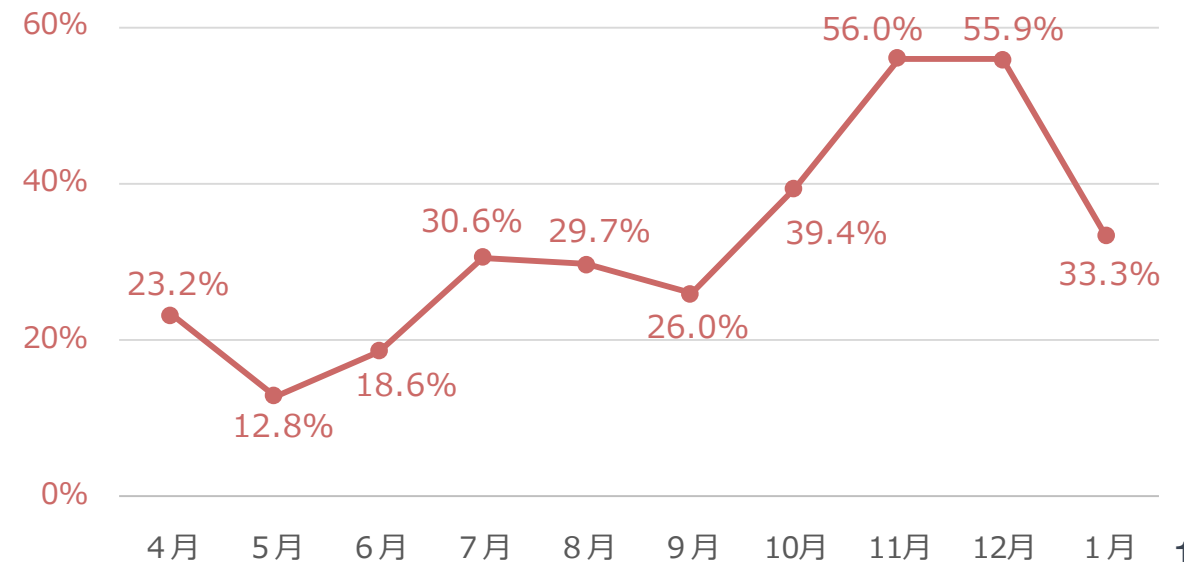
- 下記ホテルが一定期間休業。
 「大阪マリオット都ホテル」4月25日～6月20日
 「都リゾート奥志摩アクアフォレスト」5月6日～6月30日
 「ホテル近鉄ユニバーサル・シティ」4月26日～5月31日

※ 10月1日に売却して受託事業に移行した8館を含む

百貨店売上高対平年比



ホテル平均稼働率



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期 第3四半期	増 減	増 減 要 因
流動資産	331,123	348,908	17,785	
固定資産	1,621,243	1,568,505	△ 52,737	建物及び構築物 △40,566 土地 △9,809
資産合計	1,955,048	1,919,774	△ 35,273	
流動負債	585,804	501,566	△ 84,237	
固定負債	1,030,748	991,084	△ 39,664	
負債合計	1,616,553	1,492,651	△ 123,901	
純資産合計	338,494	427,123	88,628	
うち利益剰余金	40,829	88,608	47,779	
うちその他の包括利益累計額	92,829	108,437	15,608	
負債・純資産合計	1,955,048	1,919,774	△ 35,273	
借入金・社債残高	1,182,219	1,058,720	△ 123,498	
借入金	792,571	715,394	△ 77,176	短期借入金 △49,055
社債（コマーシャルペーパー含む）	389,648	343,326	△ 46,322	1年以内償還社債 △19,283 コマーシャルペーパー △25,000

お問合せ先

経理部

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp